

アルテクトプライマー

ALTECT PRIMER

一般名称	一液形反応硬化エポキシ樹脂さび止め塗料			
適用規格	JIS K 5551:2018 構造物用さび止めペイント A種・B種			
系統	ケチミン硬化エポキシ樹脂さび止め塗料(1液浸透形)			
主な用途	【電力・プラント用】	【鉄塔・鉄骨用】	【非鉄金属面用】	など
適用素材	鉄 ○	亜鉛めっき ○	アルミ ○	ステンレス ○ コンクリート 適用可
特長	1)鉛・クロムなどの重金属を使用していない。 2)素地(さび層)への浸透が良く、防食性が優れている。 3)1液形であり、作業性が良い。 4)亜鉛めっき、アルミニウム面等各種素材との付着性が安定している。			

塗料性状	塗料密度(比重)	1.33(白)
	溶剤密度(比重)	0.88
	加熱残分	61%(白)
法令など	一液	
劇物表示 (品名・含有率)	—	
労安法上の 表示有害物	キシレン、1-ブタノール メタノール、メチルイソブチルケトン エチルベンゼン	
使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	
消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)	
硬化剤の成分 による区分	エポキシ樹脂、ケチミン	
ホルムアルデヒド 放散等級	—	
製品情報	一液	
荷姿	18kg	
混合比(重量比)	—	
主な色(色相)	白(N-93近似)、グレー(N-70近似)、赤さび色(O9-40L近似)	

素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○非鉄金属面は動力工具・手工具を用いて白さびを除去すること。スィープブラスト処理が望ましい。			
使用方法	調合方法	オートマゼールなどの動力攪拌機を用いて、十分ほぐしたのち使用する。		
	熟成時間	不要		
	使用シンナー	アルテクトシンナー		
	希釈率(重量比)	エアレス: 5~15wt% ハケ・ローラー: 0~10wt%		
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 チップNo.	10MPa(100kg/cm ²)以上 163-515~619	(日本グレイ社製)

アルテクトプライマー

ALTECT PRIMER

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	
エアレススプレー塗り	100	300	520
ハケ・ローラー塗り	40	125	160

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	1時間	1時間	30分	30分	30分	
	半硬化	5時間	5時間	2時間	1時間	1時間	
標準塗装間隔 注)	最短	16時間	16時間	4時間	3時間	3時間	
	最長	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	
可使時間		—	—	—	—	—	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジンクなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: レタン中塗E、エポマリン、セラテクトU中塗、セラテクトF中塗など

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	41.1	2.4
	5	38.2	2.6
	10	35.7	2.8

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
2)浮きさびやルーズな黒皮、旧塗膜面の発錆や塗膜の浮きなどは十分に除去して塗装してください。
3)塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。
この場合は軽くサンドペーパーなどで表面を研磨して表層を除去してください。
4)常時没水される場合は使用できません。
5)高温(40℃以上)で貯蔵や保管されると塗料が増粘します。使い残した塗料は密閉した容器に入れ暗冷所で保管してください。
6)塗料が皮膚につくと、人によってはカブレを起こすことがありますので注意してください。
7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。